

『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、さまざまな行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。

## VOICE 芝人

虎ノ門、新橋四丁目の日比谷通り沿い、新虎通りとの交差点角に、大正元年創業の中村碁盤店があります。忠臣蔵で知られる「浅野内匠頭終焉之地」の碑の目の前です。店内には畳の小上がりがあり、天井まであるガラス扉の棚には碁盤や将棋盤がずらりと並んでいます。作務衣で迎えてくれた中村英信さんは、碁盤と将棋盤、付属品一式の製造と販売を営む老舗の3代目。碁盤と将棋盤の違いやそれぞれの特徴など、お話を伺いました。

### 唯一の匠の技 中村碁盤店

#### 明治からつづくモノ作り

明治の頃、初代店主中村吉信は塩尻から上京し、はじめは時計屋や運送屋で働きました。のち小伝馬町で碁盤屋の手伝いをしながら修行を重ね大正元年に今の新橋四丁目に碁盤店を創業しました。通りの幅が広い日比谷通りは将来発展する地と見込んで、店の場所をここに決めました。

店に掛けられた時計は、創業の際に手に入れたもの。百年余、振り子の力のみで休まずに動いています。店は震災や戦争で2度焼けましたが、大切な時計は持ち出して無事でした。戦時は信州に疎開していましたが、焼け野原の東京へ戻ってきた際に碁石が散らばっていて、店の場所が判明したエピソードもあります。

碁盤を作る3代目の英信さん。その技術は祖父である初代から、木の特質を論理的に教え込まれた成果です。3人の姉のあと、たった一人の男子だったため、自然に2代目の父英二さんのあとを継ぎました。幼い頃からモノ作りが好きで、今でも自分の作ったものがお客さまの評価を得られた時や、「いい仕事をしている」と言われた時が一番うれしいと笑顔で話します。

#### 碁盤と脚、碁石と碁器

碁盤の原材料は主に樫の木です。「樫目」と「板目」があり、「天から出た木目が地へ」の意の「天地樫」は、面の部分の木目が真下に抜けており、両脇がともに完全な美しい板目になります。しかし樹齢600年を超えないと樫目取りができる太さには達せず、自然乾燥にも10年が必要です。利用できる部位も根元から一番初めの枝の下まで。樫は通常ごつごつしていますが、中に節や空洞がないものは樹の容姿がまっすぐになります。樹の目利きも匠の技の一つです。

本樫盤は、ほどよい弾力性により、長時間碁を打っても疲れにくく、音の響きも最高で、日本国内の各種タイトル戦をはじめとするプロの対局すべてに使用されています。油分を多く含み、長年使用してもツヤを失わず、使い込むほどに深まる渋い餡色の色ツヤは、言葉では言い表せない味わい深さがあります。最高級の碁盤は1000



創業より働き続ける振り子時計と3代目中村英信さん

万円もするとか。碁盤の脚はクチナシの実を模して掘ります。「観戦者は対局者に横から口を出すな＝口無し＝クチナシ」の意が込められています。



クチナシの実を模した碁盤の脚

店の奥にはノミや、砥石が整理して置かれ、道具類は全て自分に合うように、自ら作ります。碁盤の厚さと脚の大きさのバランス、碁盤の目打ちが、碁盤づくりの醍醐味。漆で目を打つ作業が一番気を遣うそうです。



自作の道具類

盤は向かい合う縦が3cmほど長く、マス目は19×19、交差の数は361あります。白と黒の碁石はマス目の交差した部分に置かれます。碁石の数は盤面全部に埋まるように数をそろえてあります。白石は180個、直径21.9mm(7分2厘)。黒石は181個、直径22.2mm(7分3厘)。先手の黒石の数が1つ多く、直径が0.3mmほど大きいのは、白が膨張色のため。若干の差をつけると、人間の目にはほぼ同じ大きさに見えるからだそうです。

黒石は硬質の粘板岩で、硯の材料として知られる和歌山県産の那智黒で作られます。白石は蛤の貝から作られ、一つの貝から3つしか作れないため高価です。宮崎県日向地方産が最高とされていますが、近年は枯渇し、ほとんどメキシコ産の蛤を九州で加工しています。国産は特有の樫目の細かい縞目が無数に通っており、色・光沢ともにメキシコ産に勝ります。

初代が購入した日向産の白石は宝物。挽き師がこしらえた碁器に収まった碁石は厚みがあり、白石は美しい貝の文様を帯び、黒石は落ち着いた光沢を放っています。現在の価格は1600万円。そのほとんどは白石の値段で、一つ8万円ほど。碁器の中の石をかき混ぜて音を立てる行為がマナー違反なのは納得です。

#### 将棋盤と駒台

将棋盤は碁盤と大きさが違います。マス目が9×9の長方形で、将棋駒をマス目の中に置きます。将棋には将棋盤と将棋駒、駒を置く駒台が必要です。将棋では相手から取った持ち駒も立派な「情報」。よって持ち駒を駒台に置き、公開します。手に握ったり駒を隠して対局者に見せないのは反則です。駒台は2つで一組とし、将棋盤の右側に置かれます。これは右利きが多いため、右手で取りやすいようにした所以です。駒台の材質は、碁器と同じ木材を使い、盤よりすこし暗い色のものがよいとされます。厚い盤は脚が付く物がほとんどで、一本または四本脚があります。また、卓上で使う脚のない盤もあります。

虎ノ門再開発でまちの様子も変わり、3代目を継承した英信さんは港区で唯一の碁盤店。伝統技術は残したいと、初代をモデルに描いた暖簾を掛け、守り続けています。

2000年以上も人々に愛されてきた囲碁。昨今は囲碁AI(人工知能)が話題になりました。虎ノ門から、中村さんの匠の技が未来に向けて受け継がれるように願っています。



黒石は和歌山県産の那智黒、白石は宮崎県日向地方の蛤の貝

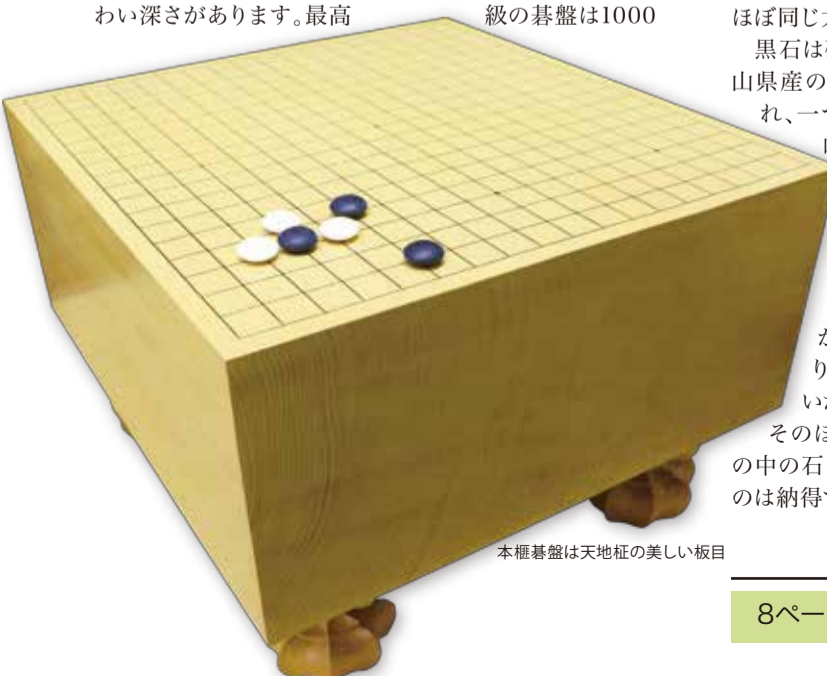
[文・写真■早川由紀 取材■森明、早川由紀]

#### 参考文献

吉田寅義著「碁盤・将棋盤一棋具を創る」大修館書店

#### Information

中村碁盤店  
新橋4-31-7 中村ビル1階  
TEL 03-3434-1564



本樫盤は天地樫の美しい板目



# 芝の文化

## 水上で楽しむ食事と東京見物

### 船宿「縄定」6代目

JR浜松町駅南口近くの古川沿いに、いくつもの船宿があり、山手線や京浜東北線の車窓から古川に舳ついている屋形船が見える。そのうちの軒、「縄定」の6代目当主、竹内浩さん(56歳)を訪ねた。



屋号になった底延縄

東京湾大華火祭は東京オリンピック・パラリンピック選手村の整地工事の関係で、今年から中止となったが、隅田川の火花や桜の季節など、冷暖房が備わった最近の屋形船は四季折々いつでも楽しめる。浜松町から芝浦の運河を抜けて、目黒川の桜の名所まで溯ることもある。戦前は屋形船で家族の舟遊びと洒落することもあったが、今の屋形船は60席もあり、貸し切りは15名からである。また、最少4名で申し込める「乗り合い」もある。

竹内さんによると、かつては会社のレクリエーションで屋形船を使うと、参加するのは社員だけだったが、年々、家族連れで参加するケースが増えているとのこと。



金杉橋より古川の船着き場



お客様のニーズに合わせて椅子席となった船内



6代目当主竹内浩さん

### 東京パナマ運河

最近、水上からの東京見物が話題になることが多いが、「縄定」ではすでに20年ほど前から、オープンポートでの観光クルーズを展開しており、「スカイツリーと神田川溪谷めぐり」&日本橋川橋めぐり「東京パナマ運河と裏スカイツリー」&神田川溪谷めぐり&日本橋川橋めぐりなどのコースを用意している。起点は日本橋の棧橋または浜松町。

東京パナマ運河とは、江東区で隅田川と旧中川を結ぶ小名木川が扇橋開門で、1.5mから2mの水位の変化を楽しむことを指す。お客さんが大喜ぶするそうである。

ところで、屋号の「縄定」は、延縄漁の「縄」と、大正から昭和の初期にかけて活躍した3代目の定吉の「定」に由来するのだが、当時の東京湾の延縄漁とは、一体どういったものだったのか。現在では外洋のマグロの延縄漁が有名だが、当時の江戸前の延縄漁は底延縄といわれるもので、海底に這わせた仕掛けでカレイやアイナメなどを漁獲した。「縄定」には、当時使用していた漁具が飾ってある。

「縄定」では、貸し切りの仕立て釣り船も営業しているが、当主自身、屋形船の出航やクルーズ船運航の合間を縫って、多摩川の河口などで刺し網を行う。大物のスズキを狙い、漁獲は活きたまま築地市場へ出荷しているそうだ。

東京湾の水はきれいになったが、埋め立てで、幼魚が育つ浅場が減っているのが心配とのこと。

【文・取材】中島洋 写真【米原剛】



戦後に建てられた現在の建物

### Information

縄定  
浜松町2-13-11  
TEL 03-3431-5629 FAX 03-5473-0669  
ホームページ <http://www.nawasada.com/>

# 芝の出来事

## 新虎通りのビジョン(将来像)!

### 新虎通り(旧マッカーサー通り)の始まり

平成26年(2014)3月に環状2号線トンネル部分が開通して以来、新橋三丁目・四丁目、西新橋二丁目・三丁目、虎ノ門一丁目を東西に貫く新虎通りの地上部道路と沿道周辺の地域が整備されてきています。

港区が平成24年(2012)3月に策定した「環状2号線周辺地区まちづくりガイドライン」は、地区の景観や建築物に関する用途、制限などの基本方針を決めています。また、平成25年(2013)7月には新虎通りの街並みと新虎通りのロゴ、清掃活動、利活用などについて、東京都、港区を事務局とした地域と行政が共通認識のもと地域連携を目指した検討会として「新虎通りエリアマネジメント準備会」が発足しました。この準備会が「新虎通りエリアマネジメント協議会」に引き継がれ平成26年3月に、新虎通り及びその沿道を魅力的で持続可能なまちへ導き、道路空間等を良好な状態に保持し、まちの価値の向上を目指すことを目的に組織化されました。この協議会は、現在、沿道の町会長らや関係者を役員、会員とする組織となり活動し、さらに実務を担当する一般社団法人「新虎通りエリアマネジメント」が平成27年(2015)10月に設立されました。



### 新虎通りの将来像(ビジョン)

「まち」って何でしょうか? ひとりふらりと、それとも何人もが集まってワイワイ楽しんだり、仕事をしたり。はたまた、その土地柄ならではのライフスタイルが魅力なのでしょうか?

新橋には、「オヤジのまち」「路地裏文化」といわれる文化がたくさんあります。虎ノ門には虎ノ門ヒルズをはじめ大小のオフィスビルがあります。新虎通りを挟んで日比谷神社、塩釜神社、虎ノ門金刀比羅宮、愛宕神社、青松寺などの神社仏閣があります。百年以上続くお店や事業者もあれば、新しく店舗を出す事業者もいます。新橋・虎ノ門には、いかにも日本特有の文化もあれば、世界に通用するビジネスも存在しています。

「新虎通りエリアマネジメント」は平成28年(2016)3月28日、この地区のビジョンを次のように決めました。

「新虎通りエリアで展開される『未来を創造する新しい価値』と『街にいきづく伝統』が、多くの人を惹きつけます。人々の多様な交流により、新しいアイデアや多彩な文化・経済活動が創造される街『国際新都心』を形成し、東京の未来を牽引していきます。」

現在・将来にとって一番大切なのは、住民、働く人、まちに来る人などすべての人々に、このまちに魂を吹き込んでもらうことです。「なんでも」、「いつでも」、「誰でも」、「どこでも」の柔軟な思考で、今あるあらゆる価値観を変え、結びつけ、新しい人間の生き方や文化やビジネスができ

る「まち」にすれば、いつもその時代に合った「まち」になり続けるのではとの発想で作られました。人間優先の将来像といえます。

### 新虎のロゴ

新虎のロゴをご存知でしょうか?



「縄」は、「新」の左側の「辛」と「木」の会意兼形声文字、「虎」の象形文字を合わせた新漢字で、「平成の新たな言葉」といってもよいと思います。「峠」のような新しくできた大和言葉にならない、エリア協議会で決めました。ところが、「峠」のような会意文字で、山のり道と下り道の頂上で「トウゲ」を意味するように、「縄」にはその字に意味付けがなくロゴ・デザインとして今日まで来ています。これでは汎用されないで、この字を表音文字にするか、表意文字にするか、もしくはそれらの組み合わせにしたらどうなるのでしょうか。

例えば「縄」は、新と虎の合体?だからニュー・トラディション(新しい伝統)なんちゃって!こんな意味をつけてもらえれば、これが認識され「新しい伝統」の意味で「縄」を使ってもらえるのではないのでしょうか。

新しい謎の文字を生み出せる新虎通り周辺地域です。

●写真提供 一般社団法人新虎エリアマネジメント

【文】森明

## ご近所ラボ新橋を ご存知ですか?

たべるはたけ部編

今回は前号でも取り上げました「ご近所ラボ新橋」の活動の一つ、都会・新橋で野菜を育て食べている「たべるはたけ部」を特集します。

「たべるはたけ部」の名前は「みんなで料理して食べることを前提とした、畑の部活動」に由来しています。作物の育ち具合と収穫のタイミングに合わせて、4月から11月の期間、雨天を除く毎月第2、第4土曜日の9時半から11時半、きらきらプラザ新橋にある屋上菜園でアクティブに活動しています。

新橋で育つ野菜のお味はにいか? この真相を確かめるため、3月下旬の定例活動に一部員として参加してきました。入会金500円を払えば誰でも部員になることができます。この屋上菜園では、季節ごとにたくさんの野菜を育てています。へちまなどの野菜を育てはじめたのは、お



よそ2年前のこと。最初の1年間は試行錯誤でしたが、昨年から網をしっかりと張るなど工夫を凝らしたところ、たくさんの葉物や豆類、短い根菜類を収穫することができるようになりました。じゃがいもや玉ねぎ、ミニトマトも大量です。

ほとんどの野菜は種から植えていますが、夏野菜にかぎっては、日差しがあり成長が早いので苗から育てています。冬の時期は越冬もさせます。



子どもも楽しく土いじり

参加者はお母さんに抱っこされた赤ちゃんからシニア世代までさまざま。初めて会う方も草を抜いたり水やりしたりしていると、自然と会話が生れます。一人で参加している方もたくさんいますが、作業をしているうちにすっかり笑顔に。また子どもと触れ合う接点ができるのも魅力です。お子さんがいる方にとっては菜園で遊んでいる自分の娘や息子の姿を見て、新発見するなんてこともしばしば。親としての楽しみもあります。

都会での菜園作り・土いじりができるとは、なんて楽しいことでしょう! いきなり農業を始めるのはハードルが高く大変ですが、まずはお試しで、ちょっとした畑作業が体験で

きる、そんな公共の場があることは貴重ではないでしょうか。今年の7月から9月の収穫期間は、畑の野菜の育ち具合に合わせて第2、第4土曜日の定例活動の後の12時~14時や平日の夜に「収穫野菜の料理会」を随時開催(不定期)。屋上で採ってきた野菜などを1階のオープンキッチンで料理して、コミュニティラウンジでおいしくいただく予定です。

この採れたての野菜を味わう収穫野菜の料理会や部活動は、誰でも参加できます。ご近所ラボ新橋のカレンダー(ホームページや区立図書館等の施設でも配布)をチェックして、屋上または1階での料理会にぜひいらしてください!

【文】田岡恵美 写真【米原剛、たべるはたけ部】

### Information

ご近所ラボ新橋  
新橋6-4-2 きらきらプラザ新橋1階  
TEL 03-6459-0789  
ホームページ <http://lab.gokinjo.jp>



料理会の様子

たべるはたけ部のメンバーたち

子どもたちもお手伝い



芝の食文化  
天ぷら

江戸で天ぷらが流行したのは天明年間(10代将軍徳川家治、11代将軍家齊)の頃からといわれている。てっとり早く食べられる蕎麦、鮎、天ぷらは江戸の「味の御三家」となった。  
新鮮な江戸前の魚を串に刺して、胡麻油で揚げ、天つゆをさっとつけてという立ち食いから始まった。魚河岸近くの屋台で始まり、昭和初期まで上野や神田には、屋台の天ぷら屋が何軒もあった。海老、鱈などさまざまな魚介類を高温でさっと揚げるため、中身は自然の味と香りがそのまま残る。これこそ江戸前の素材を使った醍醐味といえるだろう。

揚げたてを一品ずつ

地下鉄日比谷線「神谷町」駅直結のビル地下にある「かつみ」は、昼の定食でも六種七品の天ぷら一つずつ供している。カウンター11席だけというのは店主のこだわりで「あつあつを召し上がってほしいから、揚げたてを一品ずつ提供しています」とのことだ。

店主の福地勝己さんは、ここ神谷町で生まれ育ち、ホテルオークラで30数年天ぷら部の料理長として研鑽を積んだのち、12年前に「かつみ」を開店した。「オークラの味とスタイルを多くの方に味わっていただきたい」という気持ちもあって、丁寧な仕事を心がけている。

店主と女将の息もぴったりで、天ぷら、ご飯、みそ汁の出でくるタイミングがいい。目の前に出てくる天ぷらを一口食し、ご飯を口に運び、ひと息ついたところで次の天ぷらが出てくる。お客一人ひとりに目を配った気配りと、「おもてなし」の心地よさで客は満足感を味わえるのだ。



独特のまろみをもつパキスタンのパハール岩塩は素材の美味しさを引き立てるので、リピーターのお客に人気がある



昼定食



「鮮度の高い種を短時間に仕上げているので、揚げたてを召し上がってほしい」と言う店主と女将

皿に敷いてある紙に油がにじむことはない。これは揚げた天ぷらの油のキレがよいので、店主の腕の見せどころである。

油は太白胡麻油と菜種油を半分ずつ使用。コクが出てベストな配分になる。昼夜2回、油を惜しげもなく取り替えるほどの徹底ぶりだ。

昼の定食は、海老2尾、穴子、やさい、鱈、やさいの順に出てくる。魚とやさいが交互に出てくるので、飽きることはない。  
最後は芝エビ、ホタテ、みつばのかき揚げ。かき揚げはご飯のおかわりをすると丼たれをかけて天井としても出してくれる。心憎い演出だ。定食を注文すると、天井までいただけるので得した気分にもなる。若い女性の一人客が多いのもうなづける。

毎朝6時前に店主自ら築地で新鮮な食材を仕入れ、すぐさま仕込みにとりかかる。女将がいうところの「肩ひじ張らずに、おいしく召し上がっていただくために、誠実に取り組んでいます」という言葉通り、引き入れてくれる笑

顔と店主の仕事に対する心意気が天ぷらの味をより一層引き立てている。

【文■伊藤早苗 取材■千葉みな子、伊藤早苗 写真■森田友子】



定食のほかに人気の天井

●参考文献  
林順信著「江戸東京グルメ歳時記」雄山閣  
遠山英志著「テンプラ史論-起源と語源を探る-」青森県芸文協会出版部

Information

天ぷら「かつみ」  
虎ノ門5-13-1 虎ノ門40MTビルB1階  
TEL 03-3434-0986

「和太鼓」の心意気を伝える

縄文時代には既に情報伝達的手段として利用されていたといわれる太鼓。太鼓の鼓動が人間の心臓の鼓動と共鳴するためか、その響きを聞いていると、どこか心穏やかにもなり、それでいてふつふつと力も湧き上がる、そんな気持ちにさせられます。

全国で数多くの和太鼓集団が存在するなか、御成門小学校体育館で練習を積み、その成果を披露している「和太鼓 真誠会」。代表の野田春代さんにお話を聞きました。

真誠会は大太鼓、長胴太鼓、縮太鼓の3種類から構成される「組み太鼓」という形態で演奏しており、そのルーツは20年以上前にさかのぼります。野田さんの太鼓の師匠で

あった故・南城浩との縁から、和太鼓のグループが港区で発足し、その後ほどなくして、御成門小学校を練習の場として借りました。それから約20年。現在は、20代から60代の男女17名のメンバーで構成されています。

演奏の場は結婚式、新築祝い、会社の記念行事をはじめ、芝大神宮での新年奉納太鼓、台湾への遠征、みなと区民まつり、東京マラソンなど、多岐に渡ります。また、御成門小学校など港区内の小学生の太鼓クラブの指導も毎月行っています。「好奇心旺盛な子供たちに和太鼓の楽しさを感じてもらいながら、物(道具)を大切に作る心、協力し合う喜びを伝えていきたい。そして、地元を盛り上げるために少しでもお役に立つことができたらという気持ちです」と野田さんは話します。

長く続いている秘訣は何でしょうかとの問いかけには、「人間関係の難しさを感じた時期もありましたが、メンバー各々が自由に意見を出し合い、話し合いながら活動していることだと思います。これは、皆で互いに教え合うという考え方が根底にあるからです」と答えてくれました。

これまで和太鼓に興味があったけれど、なかなか参加するには至らなかった皆さんも、御成門小学校での練習を一度見学してはいかがでしょうか。爽快な汗を流してみるのも素敵だと思います。



御成門小学校体育館での練習風景



野田春代さん(前列中央)と和太鼓真誠会のみなさん



長胴太鼓

縮太鼓

【文・取材・写真■浜島孝啓】  
●取材協力 和太鼓真誠会

Information

和太鼓真誠会 代表 野田春代  
浜松町1-10-8  
TEL 090-2245-2589

\*練習日は不定期ですが、基本的に御成門小学校体育館が使用可能な日曜の13:00~17:00です。費用は1回1,000円。動きやすい服装でお越しください。

芝地区  
いきいきプラザ

いきいき  
芝地区元気フェスタ編

今回は、三田いきいきプラザで催された芝地区元気フェスタを紹介します。このフェスタは、介護予防を目的として、見る、聞く、体験するなど、多角的に楽しめるイベントです。介護予防リーダー・サポーターが主体となり、いきいきプラザや芝地区高齢者相談センターなど、芝地区で活動しているさまざまな団体関わっています。



アンチエイジング講演

ステージブース

立川らく次さん、らく者さんによる落語からスタートし、清水軍治さんによるアコーディオン演奏、銀座医院久保明先生によるアンチエイジング講演、フッキー&ピッコリーノによるノルディックフィットネスダンス、芝地区高齢者相談センター職員による演奏会など、単に見て、聞いて楽しむのではなく、参加型のプログラムが用意されていました。



ノルディックフィットネス

飲食ブース

このイベントでは今回初めて、飲食ブースが設置され、喫茶スタッフが趣向を凝らした食べ物を提供。参加者にとっても喜ばれていました。



ランチセット

いきがいつくり体験  
ブースコーナー



臨床美術体験

三田で活動しているアロマハンドマッサージのボランティアグループ、臨床美術体験、パーソナルカラー診断といったコーナーがあり、どのコーナーでも地域やボランティアの方々が活躍していたのも印象的でした。



アロマ・パーソナルカラー

運動主体の介護予防イベントとは違い、さまざまな視点から介護予防、生きがいにつながる体験ができ、また介護予防リーダー・サポーターや地域の方が活躍できる場となりました。そのため、新しい地域コミュニティの醸成にも期待ができるイベントだったのではないのでしょうか。

いきいきプラザは合同イベントだけでなく、季節に合わせ、各館趣向を凝らしたイベントや事業を開催しています。ぜひ足を運んで、新しいコミュニケーションの場に参加しませんか。

【文・写真■米原剛】

●写真・資料提供 指定管理者：百葉の会・東急コミュニティー共同事業体

Information

三田いきいきプラザ: 芝4-1-17 TEL 03-3452-9421  
神明いきいきプラザ(プラザ神明): 浜松町1-6-7 TEL 03-3436-2500  
虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア): 虎ノ門1-21-10 TEL 03-3539-2941



今回のイベントのお知らせ  
とらトピア夏まつり  
会場 虎ノ門いきいきプラザ  
日時 8月6日(土) 10:00~15:00





社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 東京都済生会  
**東京都済生会中央病院**

第1回

「済生会」は全国40都道府県で病院、特養などの事業を展開し、79病院、371医療・福祉施設を運営する日本最大の社会福祉法人です。創立100周年の歴史を超えて、更に地域の皆様に頼りになる病院として、より深く知っていただくために、今号より4回にわたってインタビューをご紹介します。まず初回は、東京都済生会中央病院の誕生から現在に至るまでの概要です。

これまでの歩み

関東大震災、太平洋戦争で大打撃を受けながらも、今日に至るまで先進医療を地域に提供する一方で、生活困窮者への医療支援をずっと続けてまいりました。

その象徴的な施設が路上生活困窮者を受け入れる「東京都立民生病院」の運営です。これは済生会の設立原点とも言えるべき施設であり、東京都から運営を委託し、平成14年条例廃止、閉鎖後も民生病院機能は東京都から当院に継承され、現在もその機能は継続しております。

もう一点、済生会として存在意義が示されたのは、日本初の医療ソーシャルワーカー(MSW)が済生会中央病院で誕生したこと。この事業としては、患者の身元生計調査や退院後のお世話、退院患者への衣服及び帰宅旅費の給付立替、引取り手のない死亡患者の葬儀などです。

この頃から生活困窮者に対する社会医療事業も進んでおります。

— 事務局談

開設当時



開設当時は木造2階建てで、診療科は内科、小児科、外科、産科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻科、眼科で診療を開始しました。

現在

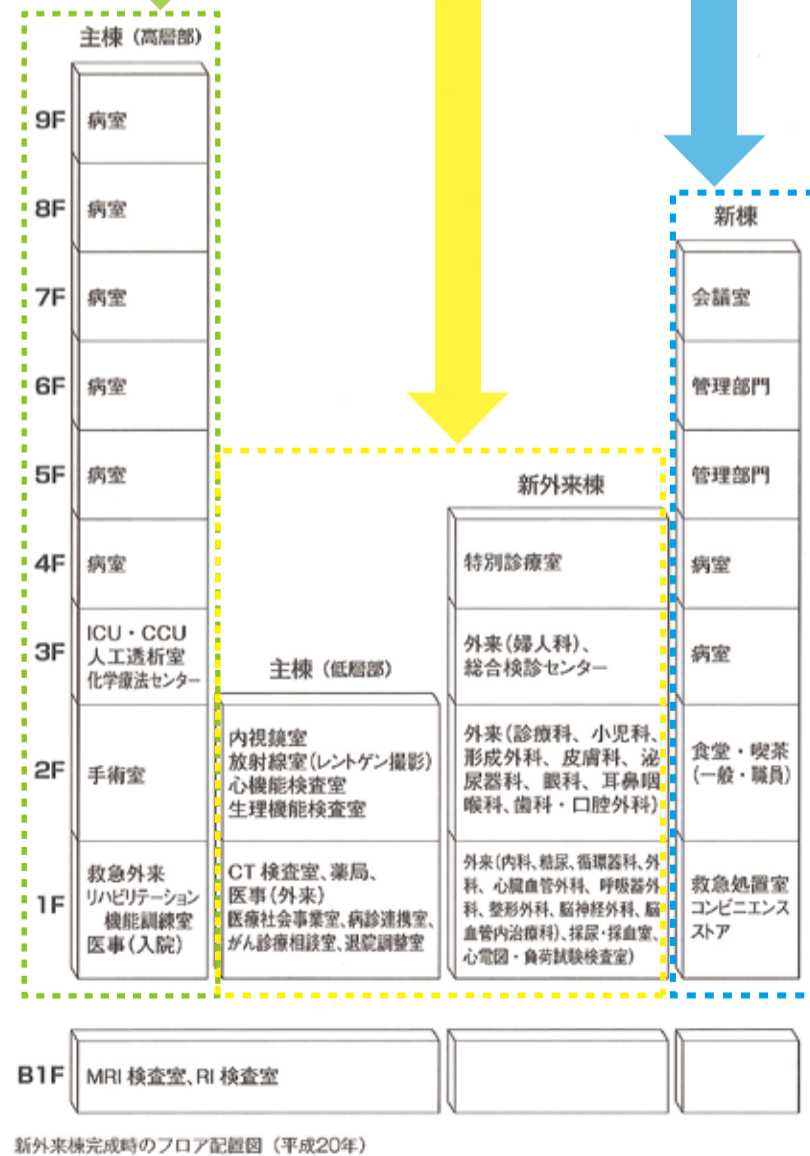


新築棟建設中

- 初代 院長 北里 柴三郎(大正4年)
- 2代 大谷 彬亮(大正12年)
- 3代 秋吉 辰三(昭和6年)
- 4代 高雄 徳龍(昭和10年)
- 5代 中山 安(昭和24年)
- 6代 小山 武夫(昭和25年)
- 7代 堀内 光(昭和46年)
- 8代 伊賀 六一(昭和60年)
- 9代 末舛 恵一(平成9年)
- 10代 高木 誠(平成18年～現任)

言葉の説明

1. **恩賜**: 天皇陛下から賜ったもの
2. **財団**: 特定目的の財産権を有するもの
3. **公的医療機関**
  - : 1290病院、6820診療所(平成26年概数)
  - : 都道府県、市町村と以下の開設する病院、診療所のこと
  - 地方公共団体の組合、健保組合
  - 済生会、日本赤十字社、全国厚生農協連合会(医療法31条)
4. **社会福祉法人**(社会福祉法が定める)
  - (1) 社会事業を行う特別法人のこと
  - (2) 病院、診療所運営
  - (3) 救護施設、乳児院、児童養護・障害者支援施設、特養老人ホームの運営  
(これは、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、障害者総合支援法に規定される事業)
  - (4) 公益事業(社会事業以外の)として  
子育て支援、ボランティア育成、社会福祉に関する調査研究など
  - (5) 収益事業(経営・安定収益が見込める事業)  
法人所有の不動産活用の貸ビル、駐車場経営、公共的施設内売店など



始まり

勅諭  
 (明治十四年二月十二日)  
 朕惟ニ世世ノ大勢ニ隨ヒ國運ノ伸張ヲ要スルコトガニ  
 念ニシテ經濟ノ狀況漸ニ革マリ人心動クモレハ其ノ動向  
 ヲ詳ラトス致テ爲ス者宜ク深ク此ニ至リ信々憂勤ヲ  
 業ヲ勤メ救テ以テ健全ノ發達ヲ達ケムベシ若シ  
 夫レ無告ノ窮民ニシテ醫藥給セズ天壽ヲ終フルコト能  
 ハサルハ朕ガ最モ慘念レテ指カサル所ナリ乃チ進奏救護  
 充テテ救テ以テ健全ニシテ其ノ實ニ  
 充テテ救テ以テ健全ニシテ其ノ實ニ  
 充テテ救テ以テ健全ニシテ其ノ實ニ

明治天皇が桂首相に賜った**救護済生**の勅諭。医療を受けられないで困っている人たちに無償で治療する途を講ずるようにとの趣旨で「済生勅諭」を添えて換算十六億円を下賜されました。

なぜこの由来

露にふす  
 末野の小草  
 いかにと  
 あさ夕かかる  
 わがころかな  
 初代総裁

なぜこの由来  
 済生会の事業の精神を  
 野に咲く撫子に託して



- 総裁 伏見宮貞愛親王殿下 明治四四
- 二代 関院宮載仁親王殿下 大正一二
- 三代 高松宮宣仁親王殿下 昭和二一
- 四代 高松宮紀喜久子殿下 昭和六二
- 五代 三笠宮寛仁親王殿下 平成一二
- 六代 秋篠宮殿下 平成一五

第2回目の訪問は、以下を予定しています。  
 ・救命救急センター ・附属乳児院  
 ・三田訪問看護ステーション

取材協力  
 東京都済生会中央病院総務課  
 参考文献・写真・図・典拠  
 『済中物語 時代の中心へ、地域の中心へ「済生の精神」を未来へつなぐ』  
 東京都済生会中央病院100周年記念誌

Information  
 東京都済生会中央病院  
 三田1-4-17 TEL 03-3451-8211  
 ホームページ <http://www.saichu.jp/>

バックル&ベルトの愉しさを!

JUN-COMPANY



オリジナルベルトの数々



代表取締役の中島純一さん(左)と、革職人修行中の息子の大樹さん

増上寺の交差点から新橋へ向うとすぐ、バックルとベルトの専門店「JUN-COMPANY(ジュン・カンパニー)」がある。ユニークなアイテムで店を営んでいる、有限会社JUN COMPANY代表取締役の中島純一さんに、壁一面バックルに囲まれた店内で話を聞いた。

「平成18年(2006)に出身地の埼玉県で開店し、3年程後に下北沢へ移転したのですが、まちの再開発のため、平成26年(2014)にここ芝公園に移りました」と語る中島さんは、元々アメリカン雑貨好き。特にバックルに興味があったそうだ。



繊細な細工が美しい

「バックルはとても装飾的ですが、扱いやすいアイテムです。この店では米・英のインポートもの、横浜店ではユーズド商品も扱っています。素材は真鍮や銅。型に流して作るので、美しい装飾のわりに値段は意外とリーズナブルです。デザインは、ネイティブ・アメリカンものやハーレーダビッドソンのようなバイクもの、カリフォルニアのご当地ものなどが人気です。僕は真鍮が好きなので、ジャックダニエルのものが好きかな(写真右上)。」

彫金ではないが、レリーフや着色の繊細さは、作品と呼べるものばかり。ハードなロックテイストやユーモアたっぷりなものが多く、身につけていたら注目を浴びることは間違いなさそう。バックルに合わせたベルトの注文も受けている。一頭分の牛皮から取れるの



壁を彩るバックルたち



匠の店内ディスプレイ

は15~16本で、最近では余分となった単でオリジナルの小物も作り始めたそうだ。

「お客さまは40~70代の大人の男性が多いですね。芝公園はその年齢層の方が多く、また交通の便も良いのでご年配の方にも来ていただきやすい場所。70代でハーレーに乗っている方が、若い頃に使っていたバックルが懐かしいと買いに来たり、スタイリストさんが商品を探しにくることも多いですね。女性はベルトもスカートも、みんな同じお店で買う人が多いのですが、本当はもっとバックルやベルトを選ぶ楽しさを知っていただきたいですね」と語る中島さん。ぜひバックルの奥深さ、楽しさを知っていただきたい。きつとはまってしまう方も多そう。

店内にはシンプルなものからデコラティブなものまで、見たことのないようなデザインの商品がところ狭しと並ぶ。所々に置かれている懐かしいおもちゃも、中島さんのアメリカ好きを感じさせて楽しい。

最近では外国人のお客さまも多いそうだ。芝公園というと、増上寺をはじめとする歴史的な観光スポットと思われがちだが、違う視点でこの土地を選ぶ人たちも、新しいまちの魅力を作っているようだ。

[文・写真■森田友子]

●取材協力  
 USA 直輸入バックル&レザーベルト専門店  
 JUN-COMPANY  
 代表取締役 中島純一さん

Information

USA 直輸入バックル&レザーベルト専門店  
 JUN-COMPANY  
 芝公園1-7-8 ITビル1階  
 TEL 03-6452-9570  
 ホームページ <http://jun-company.jp>

芝地区総合支所では、芝地区内でのミツバチの飼育、ハチミツの活用などを通じて、地域の人々の交流を図る養蜂事業を今年度4月から実施しています。

芝BeeBee's(芝BBs)とは?  
 昨年度から養蜂事業を検討・実施している区民プロジェクトチーム。ミツバチの世話をしながら、楽しいアイデアを出し合っています。

芝地区のミツバチとハチミツを活用して、多様な人々や団体と連携・交流を図り、地域のつながりを深めます。

Information

芝地区総合支所協働推進課地区政策担当  
 TEL 03-3578-3192





## 町会・自治会トピックス

### ◆◆◆ 芝金杉町会



平成28年4月10日、区立金杉橋児童遊園において開催された「芝金杉町会 さくらまつり」へ参加してきました。この催しは、東京都の「地域の底力再生事業助成」(右記参照)を活用したもので、まつりを通じた地域住民の交流を目的として行われました。

まつりは正午より始まりました。町会員や周辺地域の方々が次々と集まり、テーブルを囲み、開花間もない桜を愛でながら、歓談や軽食を楽しむひとときを過ごしました。当日は曇一つない快晴で、4月とは思えないほどの暖かさだったこともあり、老若男女問わずたくさんの住民が参加していました。

参加した方からは、「このような集まりで、町会内のみなさんとふれ合える時間が出来てうれしい」「今回できた皆さんとのつながりを大切にしていきたい」などの声が聞こえ、地域交流の素晴らしさを改めて実感した一日となりました。

〔文・取材■芝地区総合支所協働推進課〕 ●写真提供 芝金杉町会

町会・自治会活動にご活用いただけます

## 平成28年度 東京都「地域の底力再生事業助成」 申請事業募集

地域活動の担い手である町会・自治会が主催して行う地域の課題を解決するための取組(催し・活動等)を支援するため、東京都は事業助成を行っています。

**対象** 東京都内に所在する町会・自治会

### 対象事業

- (A) 地域の課題解決のための取組
- (B) (A)のうち、東京都が取り組む特定施策の推進につながる取組  
5区分(防災・節電活動、青少年健全育成活動、高齢者の見守り活動、防犯活動、オリンピック・パラリンピック気運醸成活動)
- (C) 複数の単一町会・自治会が共同して実施する地域の課題解決のための取組
- (D) 単一町会・自治会が他の地域団体と連携して実施する地域の課題解決のための取組

**募集スケジュール** 第3回 6月1日(水)~8月31日(水)  
(事前相談締切8月17日)  
第4回 9月1日(木)~11月9日(水)  
(事前相談締切10月26日)

※詳細は、東京都生活文化局のホームページをご覧ください。  
http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/chiki\_tabunka/chiki\_katsudo/chikiryoku/  
申請・問合せ先 東京都生活文化局都民生活部地域活動推進課 TEL 03-5388-3166

ご相談・お問合せは、まず芝地区総合支所協働推進課協議推進係へ!

ご相談・問合せ先 芝地区総合支所協働推進課協議推進係  
TEL 03-3578-3126

## お知らせ

### 高齢者向け給付金事業のお知らせ

低所得の高齢者への支援として、「高齢者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)」を支給します。



#### 対象者

平成27年度臨時福祉給付金対象者(平成27年1月1日時点で港区に住民票があり、平成27年度分の区民税(均等割)が課税されていない方)のうち、平成28年度中に65歳以上になる方  
※区民税が課税されている方の扶養親族等や生活保護制度の被保護者は対象になりません。

#### 支給額

支給対象者1人につき3万円

#### 申請期間

平成28年4月26日(火)~7月29日(金)  
※対象者には、平成28年4月25日(月)に申請書を発送しています。

#### 申請方法

申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添付し、同封の返信用封筒で返送してください。  
直接提出する場合は、以下の臨時受付窓口にお越しください。なお、芝地区総合支所以外の臨時受付窓口の開設期間は、6月30日までとなっておりますので、ご注意ください。

受付時間 平日(土・日曜、祝日を除く)午前8時30分~午後5時  
※水曜日のみ午後7時まで(台場分室は除く)

芝地区総合支所	平成28年4月26日(火)~7月29日(金)
麻布・赤坂・高輪・芝浦港南地区総合支所及び台場分室	平成28年4月26日(火)~6月30日(木)

給付金に乗じた振り込み詐欺や個人情報の詐取に注意してください。

問合せ先  
保健福祉支援部  
保健福祉課  
臨時福祉給付金担当  
TEL 03-3578-2846

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。ウォーキングマップとしてご活用ください。

### 芝地区MAP



●本誌の制作には以下の編集委員が参加しています  
伊藤早苗/菊池可可/清田和美/桑原庸嘉子/柴崎賢一  
柴崎郁子/田岡恵実/千葉みな子/中川寛之/中島洋  
早川由紀/浜島孝啓/町田明夫/森明/森田友子/米原剛

●今後の発行スケジュールは次の通りです。  
H28.9(第40号)、H28.12(第41号)、  
H29.3(第42号)、H29.6(第43号)  
※各号発行月の20日頃

#### 芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1~3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設等で配付しています。

### 芝地区地域情報誌編集委員を募集しています!

芝地区の話題を発掘、取材し、執筆していただく地域情報誌編集委員(記者)を募集します。

#### 対象

芝地区に在住、在勤、在学で取材に携わりたい人

#### 申込み

氏名、住所(在勤、在学の方は所在地)、連絡先、在住・在勤・在学の区別を明記の上、芝地区総合支所協働推進課まで、FAXまたは郵送でお申込みください。

#### 内容

地域の話題の収集、取材、写真撮影、原稿作成など(年4回発行予定)。発行ごとに平日の昼夜間に2時間程度の取材と、平日夜間2回程度編集会議への参加があります。

#### その他

報酬、交通費等の支給はありません。

港区芝地区総合支所協働推進課

〒105-8511 港区芝公園1丁目5番25号(港区役所2階)  
TEL 03-3578-3192 FAX 03-3578-3180

ホームページ

<http://www.city.minato.tokyo.jp/>